この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。（承認番号　平30情使、第12-GISMAP411142号）

鳥海山 火山防災マップ

秋田県側

避難所一覧

市町	番号	施設名	住所	電話番号	避難地区名
由利本荘市	①	鳥海小学校	由利本荘市鳥海町上川内字西野14番地1	0184-27-6311	上・中・下伏見地区 久保地区 扇寿苑 矢ノ本地区
	②	鳥海中学校	由利本荘市鳥海町上川内字西野108	0184-57-2309	長坂地区 河台地区 伏見沢地区
	③	直根公民館	由利本荘市鳥海町中直根字中山5番地2	0184-58-2111	下百宅地区 百谷地地区
	④	直根学習センター	由利本荘市鳥海町下直根大谷地37	0184-58-2320	大川端地区 築館地区
	⑤	矢島コミュニティセンター日新館	由利本荘市矢島町七日町羽坂64番地1	0184-56-2203	砂子沢地区 持子地区
	⑥	矢島体育センター	由利本荘市矢島町七日町上山寺54番地1	0184-56-2540	坂之下郷内地区 元町郷内地区 大川原地区 新所地区 金ヶ沢地区
	⑦	象潟公民館	にかほ市象潟町字狐森31-1	0184-43-2229	関地区 大砂川地区 川袋地区 大須郷地区 観音森地区
	⑧	上郷小学校	にかほ市象潟町字小滝舞台64	0184-38-2259	小滝地区 本郷地区 横岡地区
	⑨	金浦小学校	にかほ市金浦字背長森39	0184-38-2055	芹田地区 百目木地区 堺地区
	⑩	金浦中学校	にかほ市金浦字谷地中30-3	0184-38-2355	樋ノ口地区 大竹地区
	⑪	いちょう館	にかほ市前川字久根添55	—	大竹地区
	⑫	仁賀保勤労青少年ホーム	にかほ市平沢字中町79	0184-35-4711	三森地区
	⑬	総合福祉交流センター（スマイル）	にかほ市平沢字八森31-1	0184-32-3000	鈴地区
	⑭	仁賀保中学校	にかほ市院内字ヒシカタ40	0184-36-2121	田抓地区 三日市地区 立磨地地区 中野地区 寺田地区
	⑮	院内小学校	にかほ市小国字郷ノ町85	0184-36-2154	伊勢居地地区 畑地区 東畑地区
	⑯	水沢会館	にかほ市水沢字堂ノ下50	—	伊勢居地地区 東畑地区
	⑰	農村婦人の家	にかほ市冬師字冬師96	0184-37-2780	桂坂（横森）地区

一時避難場所一覧

市町	番号	施設名	住所	電話番号	避難地区名
由利本荘市	①	伏見会館	由利本荘市鳥海町伏見字伏見85-2	0184-57-2662	上・中・下伏見地区
	②	大久保会館	由利本荘市鳥海町下川内字大久保17	857-8069(IP電話)	矢ノ本地区の墨はより北側
	③	鐙ヶ平会館	由利本荘市鳥海町下川内字鐙ヶ平32-2	857-3206(IP電話)	矢ノ本地区の墨はより南側
	④	貝沢営農研修センター	由利本荘市鳥海町伏見下貝沢117	857-3180(IP電話)	長坂地区
	⑤	猿倉会館	由利本荘市鳥海町猿倉字長根下73-1	0184-58-2422	大川端地区
	⑥	川辺生活環境改善センター	由利本荘市矢島町川辺砂子沢65	0184-55-4076	砂子沢地区
	⑦	持子会館	由利本荘市矢島町立石字山田60-1	886-8105(IP電話)	持子地区

※IP電話は由利本荘市ケーブルテレビ加入者間のみ通話可能

凡例

- 避難所
- 一時避難場所
- 噴石分布予想範囲
- 想定火口ゾーン
- 火砕流・火砕サージ
- 降灰分布予想範囲
- 火山泥流の最大水深（m）：0.0−0.5 / 0.5−1.0 / 1.0−3.0 / 3.0−5.0 / 5.0−10.0 / 10.0−
- 避難経路
- 避難経路（二次避難または広域避難）

1：35,000

0　1000　2000　3000m

白雪川流域に係る特例

白雪川流域では、噴火に伴う泥流発生の危険性が高いため、他の地区より早期に避難情報を発令する場合があります。

（白雪川の特徴）

- 過去の噴火記録等の研究などから、白雪川には噴火による泥流が発生し、海岸まで達するとともに、大きな被害があったことが確認されています。
- 白雪川上流は、新山周辺を火口とする噴火による泥流の発生が想定されています。
- 融雪型火山泥流のほか、通年発生する火口噴出型泥流も想定されています。

避難勧告・避難指示が発令されたら

避難経路を使って、避難所（緑色）に避難してください。

※融雪型火山泥流、火口噴出型泥流が発生し、避難所への避難が間に合わないなどの場合には、命を守る最低限の緊急行動として垂直避難（谷沿いは高台への避難、平地は建物の2階以上へ避難）の対応を自ら行ってください。

谷沿い地区における2段階避難の設定

谷沿いにおける泥流（融雪型火山泥流、火口噴出型泥流）は、流速が速く、水深が大きいことと、平地に比べて到達時間が短いため、避難対象地区によっては、指定避難所までの避難が困難となる場合があります。このため、谷沿いの避難対象地区のうち、「避難経路上必ず泥流の流下が想定される河川を横断しなければならない地区」又は「避難経路が泥流の浸水により使用できなくなる可能性が高い地区」は噴火発生後一旦、一時避難場所に避難してください。その後に自治体からの指示を受けて指定避難所へ避難してください。

※火砕流・火砕サージの警戒区域内の地区は、河川の横断等の有無にかかわらず、速やかに避難してください。

※火口の位置、泥流が流下する河川（火口の位置により泥流が流下する河川が異なります。）及び道路の積雪状況等により、設定した避難経路以外でも安全で迅速な避難が可能な場合は、当該経路も使用できます。

火山灰が1cm積もる範囲

火山灰が3cm積もる範囲

噴石が降ってくる範囲（噴火警戒レベル3）

火山灰が10cm積もる範囲

噴石が降ってくる範囲（噴火警戒レベル2）

風向きにより降灰の方向は変わります。

上空の風の向き

最も頻度の高い風向き
（設定条件：西,11m/s）

この火山防災マップは、想定火口ゾーン内で噴火した場合の複数の被害想定範囲を合成して示しています。このため、実際には想定範囲内のすべてで被害が発生するわけではなく、噴火する場所によって、被害想定範囲が変わりますので、注意してください。

GISMAP　北海道地図株式会社 山形営業所 電話：023-623-6418